

Lesson 21. 健康政策と疫学

§C. 準実験デザイン

実験とは

- 研究の成果を観察するのに都合のよいように条件を整えたうえで、何らかの処置(介入)を加えること
- 通常の状態でない条件を設定して、外から処置を加える研究
- 実験的疫学研究 = 無作為化比較対照試験
 - 条件を整える = 無作為割り付け
 - 加える処置 = 介入

準実験デザイン

条件を整えない(無作為割り付けしない)で介入を加える疫学研究のデザイン

準実験デザインの種類

- 時系列 Time Series
- 非等質対照 Non-equivalent Control
- 複式時系列 Multiple Time Series
- 施設循環 Institutional Cycle

時系列

O O O X O O O

O = 観察
X = 介入

非等質対照

O X O
O O

複式時系列

O O O X O O O
O O O O O O

施設循環

X O
O X O
O X O

準実験デザインの利点

- 対照群が偶然によって介入(治療や予防)の利益を受けないという倫理上の懸念が無い。(介入群、対照群はそれぞれ元から同じグループ)
- 「実験されている」意識が少なく、参加しやすい。
- 元よりあるプログラムや資源が利用可能
- 地域に基づいた介入研究で有用

準実験デザインの欠点

- 研究結果(介入群と対照群の相違)が実際には介入だけによると言えない可能性がある。
- 選択バイアスなどの内的妥当性やホーン効果などの外的妥当性を脅かす要素を常に考慮しなくてはならない。

準実験デザインの利点

= 無作為化比較対照試験の欠点

準実験デザインの欠点

= 無作為化比較対照試験の利点

内的妥当性を脅かすもの
外的妥当性を脅かすもの

- 詳しくは
拙著「健康サービス研究入門」
新興医学出版社
